

6 鶴岡工業高等専門学校 自己点検・評価表 (基準 1～8、選択的評価事項 A・B)

「自己評価」「外部評価」欄
 5：期待を上回って実施している 4：十分に実施している 3：実施している
 2：十分には実施していない 1：実施していない

基準	点検項目	現状確認 (令和元年度末現在) ○…完了しているもの △…作成中または実施中のもの ●…未整備のもの	担当	自己評価	次年度改善・見直し予定事項	早坂委員	永澤委員	西脇委員	東委員	皆川委員	齋藤委員	委員コメント ※【】は委員名
基準 1	教育の内部質保証システム											
1-1	教育活動を中心とした学校の総合的な状況について、学校として定期的に学校教育法第 109 条第 1 項に規定される自己点検・評価を行い、その結果に基づいて教育の質の改善・向上を図るための教育研究活動の改善を継続的に行う仕組み (以下「内部質保証システム」という。) が整備され、機能していること。											
1-1-①	教育活動を中心とした学校の活動の総合的な状況について、学校として定期的に自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているか。	○自己点検・評価基本方針の策定 ○自己点検・評価委員会の設置 ○中期計画・年度計画に基づく点検項目	教務主事	4	前年末に整備し、本年度初めより改善・実施	3	4	4	4	4	4	【西】 PDCA サイクルを回し、自己点検・評価を実施するための方針、体制等が整備され、点検・評価の基準・項目等が設定されているのがわかった。
1-1-②	内部質保証システムに基づき、根拠となるデータや資料に基づいて自己点検・評価が定期的に行われ、その結果が公表されているか。	○自己点検・評価実施計画の策定 ○業務改善ループに基づく定期点検・評価 ○公式 Web サイトでの公表	教務主事	4	前年末に整備し、本年度初めより改善・実施	3	4	4	4	4	4	
1-1-③	学校の構成員及び学外関係者の意見の聴取が行われており、それらの結果が自己点検・評価に反映されているか。	○運営協議会からの改善提言 ○年度計画に基づく点検項目への反映	教務主事	4	前年末に整備し、本年度初めより改善・実施	3	4	4	4	4	5	【西】 会議の席上で発言したとおり、田川中学校長会長に委員を委任するのではなく、代表として委員を選出することを校長会に一任していただきたい。
1-1-④	自己点検・評価や第三者評価等の結果を教育の質の改善・向上に結び付けるような組織としての体制が整備され、機能しているか。	○業務改善ループに基づく定期点検・評価 ○自己点検・評価実施計画に基づく定期点検・評価	教務主事	4	前年末に整備し、本年度初めより改善・実施	3	4	4	4	4	4	【西】 第三者の評価が形骸化せず、より実効あるものとするために、上記に記述したことを願います。
1-2	準学士課程、専攻科課程それぞれについて、卒業 (修了) の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)、教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)、入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー) (以下「三つの方針」という。) が学校の目的を踏まえて定められていること。											
1-2-①	準学士課程の卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー) が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	○ディプロマ・ポリシーを定めている	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	5	【西】 入口 (AP) と出口 (DP) で求める・目指す人間像をはっきりと打ち出していて大変良い。
1-2-②	準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー) が、卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー) と整合性を持ち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	○ディプロマ・ポリシーとの整合性を持って、カリキュラム・ポリシーを定めている	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	5	
1-2-③	準学士課程の入学者の受入れに関する方針 (アドミッション・ポリシー) が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	○アドミッション・ポリシーを定めている	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	5	【西】 入口 (AP) と出口 (DP) で求める・目指す人間像をはっきりと打ち出していて大変良い。

1-2-④	専攻科課程の修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	○専攻科ディプロマ・ポリシーを定めている	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	5	
1-2-⑤	専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）と整合性をもち、学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	○専攻科ディプロマ・ポリシーとの整合性を持ってカリキュラム・ポリシーを定めている	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	5	
1-2-⑥	専攻科課程の入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）が学校の目的を踏まえて明確に定められているか。	○専攻科アドミッション・ポリシーを定めている	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	5	
1-3	学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されていること。											
1-3-①	学校の目的及び三つの方針が、社会の状況等の変化に応じて適宜見直されているか。	○自己点検・評価実施計画に基づく定期点検・評価	教務主事	4	前年末に整備し、本年度初めより改善・実施	3	4	4	4	4	4	【西】「研究」は高専の当然の使命であるが、2つ目に「地域に貢献する」を掲げ、様々な実践をしているのが素晴らしい。
基準2 教育組織及び教員・教育支援者等												
2-1	学校の教育に係る基本的な組織構成が、学校の目的に照らして適切なものであること。また、教育活動を展開する上で必要な運営体制が適切に整備され、機能していること。											
2-1-①	学科の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	○DPと整合性が取れており適切である	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	4	
2-1-②	専攻の構成が、学校の目的に照らして、適切なものとなっているか。	○DPと整合性が取れており適切である	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	5	
2-1-③	教育活動を有効に展開するための検討・運営体制が整備され、教育活動等に係る重要事項を審議するなどの必要な活動が行われているか。	○運営会議、教務委員会において教育活動等に係る重要事項を審議	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	4	
2-2	教育活動を展開するために必要な教員が適切に配置されていること。											
2-2-①	学校の目的を達成するために、準学士課程に必要な一般科目担当教員及び各学科の専門科目担当教員が適切に配置されているか。	○一般科目、専門科目担当教員を法令に従い確保している	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	4	
2-2-②	学校の目的を達成するために、専攻科課程に必要な各分野の教育研究能力を有する専攻科担当教員が適切に配置されているか。	○適切な研究実績・研究能力を有する専攻科担当教員を適切に確保している	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	4	
2-2-③	学校の目的に応じた教育研究活動の活性化を図るため、教員の年齢構成等への配慮等適切な措置が講じられているか。	○運営会議において教員の年齢構成等も考慮して人事案件を審議	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	4	
2-3	全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われていること。また、教員の採用及び昇格等に当たって、明確な基準や規定が定められ、それに従い適切な運用がなされていること。											
2-3-①	全教員の教育研究活動に対して、学校による定期的な評価が行われており、その結果が活用されているか。	○各教員が目標を立て自己評価実施 ○校長による面談（常勤教員、非常勤講師）実施 ○研究活動記録により教員の教育研究活動を把握	教務主事	4	－	2	4	4	4	4	5	
2-3-②	教員の採用や昇格等に関する基準や規定が明確に定められ、適切に運用されているか。	○「教員選考基準」「非常勤講師採用に関する申し合わせ」を定め、選考にあたって適切に運用	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	5	

基準	点検項目	現状確認 (令和元年度末 現在) ○…完了しているもの △…作成中または実施中のもの ●…未整備のもの	担当	自己評価	次年度改善・見直し予定事項	早坂委員	永澤委員	西脇委員	東委員	皆川委員	齋藤委員	委員コメント ※【】は委員名
2-4	教員の教育能力の向上を図る取組が適切に行われていること。また、教育活動を展開するために必要な教育支援者等が適切に配置され、資質の向上を図るための取組が適切に行われていること。											
2-4-①	授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究（ファカルティ・ディベロップメント）が、適切な方法で実施され、組織として教育の質の向上や授業の改善が図られているか。	○授業アンケートの実施と結果を受けた授業改善 →アンケート結果個別可視化シートの提示と授業改善状況の点検（年度末「教員教育評価アンケート」）実施 →「教育改善に関わる学生アンケート」の実施による授業改善状況に対する学生評価の集約 ○相互授業参観と相互アドバイスによる授業改善 →授業参観報告書を活用した意見・アドバイス交換 ○教務、学生支援窓口との連携による研修会 →研修資料や映像等の学内アップによる情報共有の徹底 →CDIO、認証評価に関する新規コンテンツの追加 ○新任教員への指導研修 →個別に指導教員を配置する指導体制により実施	FD 委員長	4	—	3	4	4	4	5	4	【皆】野村総研との連携など、時代に即した技術・指導方法の導入に努め、職員の知識向上と組織の強化が図られている。本市においても同社との連携協定のもとデジタル化の推進について研究しており、連携が図れるものと期待している。
2-4-②	学校における教育活動を展開するために必要な事務職員、技術職員等の教育支援者等が適切に配置されているか。	○事務部では、事務部長を筆頭として、総務課及び学生課の2課を設置し、それぞれに役割分担して管理運営体制を整えている。 また、技術職員については、教育研究技術支援センターを設置して、技術長を筆頭として、技術職員による教育支援業務等を行っている。	総務課長	4	—	3	4	4	4	4	5	
2-4-③	教育支援者等に対して、研修等、その資質の向上を図るための取組が適切に行われているか。	○外部研修等へ積極的に参加させている。また、事務職員、技術系職員対象の研修にも積極的に参加させている。	総務課長	4	—	2	4	4	4	4	5	
基準3 学習環境及び学生支援等												
3-1	学校において編成された教育研究組織及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されていること。また、ICT環境が適切に整備されるとともに、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されていること。											
3-1-①	学校において編成された教育研究組織の運営及び教育課程に対応した施設・設備が整備され、適切な安全・衛生管理の下に有効に活用されているか。	○本校の教育研究組織運営及び教育課程実現のために、高等専門学校設置基準を満たした校地（面積110,243㎡）、校舎（教室・研究室・実験室・演習室・LL教室）、機械実習工場、熱機関実習室、総合メディアセンター、旧総合情報センター、運動場、体育館等の各種施設（延べ面積30,554㎡）が整備されている。それぞれの施設には、教育・研究に必要な設備が設置されているほか、運営費交付金による教育研究設備維持管理費により各コース・基盤教育グループの中心となる設備の整備をしている。 各施設には不動産供用責任者、不動産供用補助者が置かれ、安全面を含めた管理を行い、安全衛生・環境保全委員会では、月1回作業環境チェックシートによる実験室、研究室の作業環境点検のチェックを行っている。 教室、演習室及び実験室等の週当たりの利用率は、一般教室（週当たりの利用時間／週クラス毎授業時数）については50%強である。特別教室、演習室、実験室等（週当たりの利用時間／29時間（1クラス	総務課長	4	—	3	4	4	4	4	4	

		<p>あたり週平均授業時間数)) についても、50%強の利用率である。</p> <p>また、体育館や運動場は、正規の授業以外の課外活動にも有効に活用されている。</p> <p>バリアフリー化については、建物の数箇所の入り口にスロープを設けるなどの配慮をしているほか、エレベーターを4か所設置し、車椅子での移動を可能としている。また、各トイレ内に車椅子での利用も可能な多目的トイレを設けている。</p>													
3-1-②	教育内容、方法や学生のニーズに対応したICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されているか。	<p>○総合メディアセンターでは、ネットワークに接続されているすべてのパソコンユーザーにアンチウイルスソフトの導入を義務付けている。情報セキュリティ管理委員会、情報セキュリティ推進委員会等を設けてセキュリティ管理及び情報ネットワークの管理・運営を行っている。総合メディアセンター情報メディア部門員は、情報ネットワークシステムの問題点や課題について話し合うとともに、学生・教職員から寄せられた要望に応えるべく検討を重ねている。また、学生へのネットワーク利用におけるモラルやエチケットの啓蒙活動を行っている。情報技術専門部員は、学生・教職員に情報技術を提供すると共に、ネットワークに関する相談に応じている。</p> <p>校内の演習室のパソコンは、昼休みや放課後には学生に開放され、レポート作成、情報検索等に活用されている。また、校内には無線LAN環境が整備され講義等に活用されている。</p> <p>その他、長岡技術科学大学・高等専門学校統合図書館システムのウェブページから本校総合メディアセンターの蔵書を検索、及び貸出状況を調べることも可能である。</p> <p>毎年実施している教育改善アンケートにおいても、総合メディアセンターの設備は更新されており、利用満足度は満足が不満を上回っている。</p> <p>以上のように、教育内容、方法や学生のニーズを満たすICT環境が十分なセキュリティ管理の下に適切に整備され、有効に活用されている。</p>	総務課長	4	—	3	4	4	4	4	4	4			
3-1-③	図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。	<p>○蔵書は、工学分野、自然科学分野が中心となっているが、総記、哲学、歴史、社会科学、産業、芸術、語学、文学を網羅している。</p> <p>学生用図書費は、コース及びグループ別に予算配分し、教員推薦図書として購入しているほか、学生の学習・研究に必要な図書や雑誌を計画的・系統的に選定し、購入している。</p> <p>館内の図書は日本十進分類法に従い、雑誌は外国雑誌、国内雑誌、寄贈雑誌に分け、分野別に系統的に配架し、学生、教職員、学外者に有効に活用されている。また、資格・試験関係、郷土資料、参考図書等の図書コーナーを設置して、学生が利用しやすいように配慮している。</p> <p>視聴覚資料は、授業での利用が可能な著作権処理済の資料を購入しており、授業や自学自習に活用されている。</p>	総務課長	4	—	3	4	4	4	4	4	4			【永】使用者の満足度も高く有効に活用されていると評価します。

基準	点検項目	現状確認 (令和元年度末 現在) ○…完了しているもの △…作成中または実施中のもの ●…未整備のもの	担当	自己評価	次年度改善・見直し予定事項	早坂委員	永澤委員	西脇委員	東委員	皆川委員	齋藤委員	委員コメント ※【】は委員名
		<p>総合メディアセンターは、平日夜間 20 時まで、土曜日も開館し、学生、教職員へ開放している。(令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、学外者への開放は行っていない。)</p> <p>さらに、校内からオンラインで蔵書検索が行え、また、本校以外の図書館の蔵書検索、電子ジャーナルやデータベースのオンライン検索サービスにより、必要とする論文等の目次データやフルテキストにアクセスできる環境を整えている。</p> <p>以上により、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されている。</p>										
3-2	教育を実施する上での履修指導、学生の自主的学習の相談・助言等の学習支援体制や学生の生活や経済面並びに就職等に関する指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能していること。また、学生の課外活動に対する支援体制等が整備され、機能していること。											
3-2-①	履修等に関するガイダンスを実施しているか。	○教育を実施するうえで必要なガイダンスについて、本科生、専攻科生、編入学生、留学生、障害のある学生、社会人学生等に対して実施している。	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	5	
3-2-②	学習支援に関する学生のニーズが適切に把握され、学生の自主的学習を進める上での相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	<p>○学生の自主的学習について、低学年向けに授業内容を補完する学習支援室の整備、担任制・指導教員制やオフィスアワーの整備、対面型や電子メールによる相談受付体制の整備、資格試験・検定試験等や外国への留学に関する支援体制の整備等を行い、学生が利用している。</p> <p>○学生との懇談として日常における担任や指導教員との面談に加え、定期的な学生会・寮生会との懇談や意見投書箱により学習支援に関するニーズを把握している。</p>	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	4	
3-2-③	特別な支援が必要と考えられる学生への学習支援及び生活支援等を適切に行うことができる体制が整備されており、必要に応じて支援が行われているか。	<p>○留学生支援は、留学生対応の教務主事補、寮務主事補、国際交流支援室が一体となって、留学生指導教員・チューターによる支援を行っている。</p> <p>○編入学生支援は、編入学生ガイダンス及び担任・指導教員、社会人学生は指導教員による支援を行っている。</p> <p>○特別な支援が必要と判断される学生に対しては、保健センターを中心に教務主事・学生主事・担任・科目担当教員等で支援体制(支援チーム等)を構築し組織的に支援を行っている。</p>	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	5	【永】特別な支援が必要とされる学生へのティーチングアシスタント制度の導入など、支援体制が整えられていることを評価します。
3-2-④	学生の生活や経済面に係わる指導・相談・助言等を行う体制が整備され、機能しているか。	<p>○学生生活は、学生主事を中心に生活指導・経済支援を行っている。また、保健センター内に相談室を設置し、担任教員・科目担当教員や看護師のほか、カウンセラーや精神科医を配置し対応している。</p> <p>○ハラスメント等は、「ハラスメントの防止等に関する規定」に基づき設置するハラスメント防止対策委員会において対応している。</p> <p>○学校保健計画に基づき、定期健康診断を実施している。</p>	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	4	

		○経済面での支援は、学生支援機構の奨学金制度、民間団体による各種奨学金制度、高専機構規則に基づく授業料免除や本校独自の「鶴岡高専創立50周年記念国際交流・学生支援金給付制度」により対応している。																		
3-2-⑤	就職や進学等の進路指導を含め、キャリア教育の体制が整備され、機能しているか。	○地域連携センター人材育成部門（キャリア教育とCO-OP教育を推進）と進路指導委員会が連携しながら体制を整備し、取組みを推進している。 ○模擬面接、就職関係講演会、卒業生と4年生の懇談会、保護者懇談会における進路説明、学校内における独自企業説明会実施など、進学・就職に関する様々な取組みを実施している。	教務主事	4	—		3	4	4	4	5	4								【西】CO-OP教育の取組みが大変素晴らしい。年々参加する企業や学生の数が増えており、若者定着に向けてのいちモデルとして、他の高校も学ぶところが多いにあると感じた。 【皆】全国の企業から高専生が求められており、高い求人数を確保している。大卒との初任給同額化のお願いなど、高専の価値をさらに高める取組みが行われていることが評価される。地域企業への人材の供給のほか世界を相手にする企業のリーダーとなる人材を輩出いただきたい。
3-2-⑥	学生の部活動、サークル活動、自治会活動等の課外活動に対する支援体制が整備され、適切な責任体制の下に機能しているか。	○全クラブに顧問教員を配置し、学生会や寮生会にも担当教員を配置し、支援体制を整備し、機能している。また、その他の活動（正式なクラブ以外の競技、各種コンテスト等）についても、担当教員を配置し、教員の協力・支援が得られる体制のもと適切に対応がなされている。 課外活動全般に対する「課外活動指導教員・課外活動安全管理指導業務の手引き」を定め、活動に対する安全管理も徹底されている。	学生主事	4	—		2	5	4	4	4	4								【永】廃炉ロボコンで最優秀賞を受賞するなど、適切な指導のもと、優秀な成績を残していることを評価します。 【皆】教員数に応じた適切な対応がなされている。ただし、対応する教員数の不足による各種活動の抑制が感じられる。
																				【西】半数以上の学生が学生寮で生活している実態こそが、高い評価に値するものだと考える。

基準	点検項目	現状確認（令和元年度末現在） ○…完了しているもの △…作成中または実施中のもの ●…未整備のもの	担当	自己評価	次年度改善・見直し予定事項	早坂委員	永澤委員	西脇委員	東委員	皆川委員	齋藤委員	委員コメント ※【】は委員名
3-2-⑦	学生寮が整備されている場合には、学生の生活及び勉学の場として有効に機能しているか。	<p>○学生寮の生活マニュアル「寮生活のしおり」を作成し、寮務主事補や担任教員・宿日直教員の助言等を受けながら、指導寮生を中心にした規律正しい有意義な共同生活が営まれており、教育寮として有効に機能している。</p> <p>○自習時間の設定と指導寮生・寮生会役員による学習会（1年生学習会）等の活動により勉学の場としても有効に機能している。</p>	寮務主事	4	—	3	4	4	4	4	4	【皆】今年度の新型コロナの影響の経験を踏まえ、環境の改善が求められ、緊急に学寮の改修が進められているところ。大規模改修にあたり、学生への市営住宅を提供しているところだが提供に限度がありご不便をおかけしている。交通機関とも調整を進められ、真摯に対応いただいていると感じられる。女子寮を担当できる女性教員の人数確保等、学生に寄り添った安心できる寮環境の提供に努めていると感じられる。
基準4 財務基盤及び管理運営												
4-1	学校の目的を達成するために、教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しており、活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、履行されていること。また、学校の財務に係る監査等が適正に実施されていること。											
4-1-①	学校の目的に沿った教育研究活動を将来にわたって適切かつ安定して遂行できるだけの財務基盤を有しているか。	○本校の経常的収入は、国から高専機構を通じて交付される運営費交付金のほかに、自己収入として学生からの諸納付金である授業料、入学検定料、入学金及び財産貸付料等の雑収入があり、例年、入学定員を確保しており諸納付金は確保されている。機構本部からの基盤的経費は毎年減少しているが、競争的資金を確保できるよう積極的に取り組んでいる。	総務課長	4	—	3	4	4	4	4	4	
4-1-②	学校の目的を達成するための活動の財務上の基礎として、適切な収支に係る計画等が策定され、関係者に明示されているか。	○各年度の予算に係る計画については、将来構想・戦略会議において予算配分方針を定め、その方針により策定され適正に配分しており、運営会議での審議を経て校長が決定し、教員会議、コース会議及びグループ会議で教員に周知している。	総務課長	4	—	3	4	4	4	4	4	
4-1-③	学校の目的を達成するため、教育研究活動（必要な施設・設備の整備を含む）に対しての資源配分を、学校として適切に行う体制を整備し、行っているか。	○予算配分は、方針の明示が行われ、会議の議を経た上で決定されている。校長裁量による教育研究設備維持管理費は重点的に配分するなど、十分検討した上で決定し、適切な資源配分が行われている。施設・設備の整備については、施設・設備マネジメント委員会、将来構想・戦略会議で全学的な見地から審議し、概算要求等により高専機構本部に要求し予算の確保を図っている。	総務課長	4	—	4	4	4	4	4	4	

4-1-④	学校を設置する法人の財務諸表等が適切な形で公表されているか。また、財務に係る監査等が適正に行われているか。	<p>○高専機構本部は、翌事業年度5月末日までに財務諸表を作成し、公表している。</p> <p>本校における財務に関する会計監査は、直近では、平成28年度及び令和元年度に高専機構本部による内部監査・監事監査、平成30年度には監査法人による監査、を受けている。本校内部会計監査規程により、毎会計年度1回定期的に監査を実施することとしており、また、平成20年度から3年に2回程度の割合で、高専間相互監査を受け、内部会計監査規程により、毎会計年度1回定期的に監査を実施することとしており会計監査等は適正に行われている。</p>	総務課長	5	-		4	4	5	5	5	5	【永】監査等の体制が適切に取られていると思われませんが、法人として当然に実施すべき取り組みであることから、十分に実施している「4」と評価します。	
4-2	学校の目的を達成するために必要な管理運営体制及び事務組織が整備され、機能していること。また、外部の資源を積極的に活用していること。													
4-2-①	管理運営の諸規程が整備され、各種委員会及び事務組織が適切に役割を分担し、効果的に活動しているか。	<p>○本校の管理運営の諸規程は、「鶴岡工業高等専門学校内部組織規程」を基本に、各種委員会等規程を制定、継続的に改善を加えて整備している。</p> <p>なお、新規制定又は改正が必要になった規程は、運営会議で審議し、校長決裁を経て、施行に付される。</p> <p>管理運営に関しては、副校長（総務担当）、副校長（教務担当）（教務主事兼務）、副校長（学生担当）（学生主事兼務）、副校長（寮務担当）（寮務主事兼務）、副校長（専攻科担当）（専攻科長兼務）、副校長（研究・地域連携担当）を配置し、それぞれ委員会及びセンター関連業務を所掌しており、各委員会等の主な所掌内容は規程により明確に規定している。また、各委員会等の構成メンバーは、令和2年度校務分掌表のとおりである。各委員会とも、必ず事務職員が委員または幹事として参画している。</p> <p>事務部では、事務部長を筆頭として、総務課・学生課の2課を設置し、それぞれに役割分担して管理運営体制を整えている。</p> <p>また、技術職員については、教育研究技術支援センターを設置して、技術長を筆頭として、技術職員による教育支援業務等を行っている。</p> <p>いずれの委員会も定期的にあるいは必要に応じて開催されている諸規定を整備し、各組織が効果的に活動している。</p>	総務課長	5	-		3	5	5	5	5	5		
4-2-②	危機管理を含む安全管理体制が整備されているか。	<p>○危機管理については、危機管理規程を整備し、リスク管理室を中心とした危機管理体制を確立しており、危機事象発生時には、危機対策本部を設置し、機構本部と連携して危機対応にあたる体制となっている。</p> <p>全教職員には、危機管理マニュアルを配布して危機事象発生時の対応を周知すると共に、防災訓練や新型コロナウイルス、インフルエンザ対策の際にはリスク管理室会議を開催し、危機管理体制の確認及び見直しを行っている。また、危機事象発生時には、緊急時に対応するために教職員の組織ごとに緊急連絡網を整備しているほか、学生・教職員の安否情報を迅速に集約するための安否確認システム（さくら連絡網）を導入した。</p> <p>なお、災害備蓄品については、機構本部から配備された毛布や簡易トイレの他、飲料水等を備蓄し危機事象に備えているが、災害時に不足する場合は、東北地区高専間で備蓄品を支援し合うこととしている。</p>	総務課長	4	-		3	5	4	4	4	5	【永】適切な管理体制のもと、新型コロナウイルス感染症に徹底した対応を取られ、感染者を出していないことを高く評価します。	

4-3-①	学校における教育研究活動等の状況についての情報（学校教育法施行規則第172条の2に規定される事項を含む。）が公表されているか。	<p>どの活動を広く紹介する広報誌「鶴岡高専だより」を発行し、関係機関へ配布するとともに、電子データをホームページに掲載して、広く情報発信を行っている。各種行事については、積極的に報道機関へ取材依頼を行い、マスメディアを通じた情報発信にも力を入れるとともに、活動状況は逐次ホームページに掲載している。</p> <p>学校教育法施行規則第172条の2に規定される事項については、本校ホームページ上の「学校案内－教育情報の公表」にて公表し、毎年データの更新を行っている。一部の事項については、「学校総覧」に掲載の内容をホームページ上に公表している。</p>	総務課長	4	－	3	4	4	4	4	5	
基準5 準学士課程の教育課程・教育方法												
5-1	準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成されており、その内容、水準等が適切であること。											
5-1-①	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が学年ごとに適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○進級判定基準の整備 ○年間授業期間 35 週の確保（試験期間含む） ○特別活動 90 時間以上実施 ○CP に基づき、モデルコアカリキュラムも踏まえて、配置・編成している 	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	4	
5-1-②	教育課程の編成及び授業科目の内容について、学生の多様なニーズ、学術の発展の動向、社会からの要請等が配慮されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○4・5年生において多分野の授業科目の履修認定 ○インターンシップ・CO-OP 教育・社会貢献活動・自主探求学習による単位認定 ○外国語の基礎能力（聞く、話す、読む、書く）の育成 ○他の高等教育機関との単位互換制度 ○アクティブラーニング導入と教室整備による体制強化 ○地域指向科目「地域コミュニティ学」「経営工学」による地元企業との共同教育実施 	教務主事	5	－	4	4	5	5	5	5	【永】課題として昨年同様英語力の向上が挙げられていますが、力を入れて向上されることを期待します。
5-1-③	創造力・実践力を育む教育方法の工夫が図られているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○創造力を育む教育方法の工夫 ○実践力を育む教育方法の工夫 ○総合工学による考える授業・実践する授業・社会実装にむけたシームレスな授業実施 	教務主事	5	－	3	5	5	5	5	5	【皆】3年時の授業でビジネスプラン作成講座、学内コンテストを開催されるなど創意工夫とビジネスマインドを育てる教育を行っている点が高く評価される。H30に開催された鶴岡市ビジネスプランコンテストでは「里芋でタピオカを作るアイデア」が優秀賞、ほか数件が入賞している。市コンテスト事業はR3年度実施予定
5-2	準学士課程の教育課程を展開するにふさわしい授業形態、学習指導法等が整備されていること。											
5-2-①	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ○教材の工夫 ○実験実習におけるグループ学習による少人数教育 ○グループワーク等による対話・討論型授業 ○情報機器の活用 ○学習支援室設置による基礎学力不足の学生に対する配慮 	教務主事	4	－	3	4	4	4	4	5	

基準	点検項目	現状確認 (令和元年度末 現在) ○…完了しているもの △…作成中または実施中のもの ●…未整備のもの	担当	自己評価	次年度改善・見直し予定事項	早坂委員	永澤委員	西脇委員	東委員	皆川委員	齋藤委員	委員コメント ※【】は委員名
		○一般科目と専門科目の連携 ○コース会議、教員相互の授業参観、教員FD等を通じて工夫改善										
5-2-②	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）の趣旨に沿って、適切なシラバスが作成され、活用されているか。	○CPを踏まえて適切に設定した項目に基づくシラバス作成 ○Webシラバスを導入し作成・活用 ○1単位当たり授業時間数30時間確保 ○1単位時間50分で規定、45分運用 ○学修単位の授業時間以外の学修内容等の明示	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	5	
5-3	準学士課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び卒業認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。											
5-3-①	成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	○CPに基づく成績評価・単位認定基準 ○教務委員会において基準策定 ○新入生ガイダンスや学生便覧等により学生周知 ○シラバスに記載して学生に説明 ○教務委員会において成績評価・単位認定	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	4	
5-3-②	卒業認定基準が、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、卒業認定が適切に実施されているか。	○修業年限の定め ○DPに基づく卒業判定基準 ○教務委員会において基準策定 ○学生便覧等により学生周知 ○教務委員会・教員会議において卒業認定	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	4	
基準6 準学士課程の学生の受入れ												
6-1	入学者の選抜が、入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な方法で実施され、機能していること。また、実入学者数が、入学定員と比較して適正な数となっていること。											
6-1-①	入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学者選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	○入試委員会においてAPに沿った適切な入試実施要項作成 ○APに沿うように成績評価の評価項目に応じて傾斜配分を実施している	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	4	【西】入学者の受入れに関する方針（AP）をきちんと示すことで、受験生は志を新たにすることができるし、一層の高志を持つことに繋がる。求めている人間像をはっきりと打ち出していることは大変素晴らしい。
6-1-②	入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を実際に受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。	○自己点検・評価実施計画に基づく定期点検・評価 ○次年度入試基本計画へ反映 ○年度計画実施 ○「総合工学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」により学生の適性を観察・評価している ○志願者マーケティングチームによる分析と対策実施	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	4	【皆】将来ビジョンと高い志をもって受験する中学生の確保のためには、中学までに高専を志すための仕掛けが重要となる。小中学生向けの科学技術講座等に今後とも取り組んでいただき方針に沿った学生を確保いただきたい。

6-1-③	実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学者選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	○学科定員の定め ○毎年、定員通りに受け入れている。 ○入試委員会において適切な合格判定実施 ○推薦選抜・学力選抜に加え、帰国子女特別推薦選抜を導入している	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	5	
基準7 準学士課程の学習・教育の成果												
7-1	卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育の成果が認められること。											
7-1-①	成績評価・卒業認定の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	○自己点検・評価実施計画に基づき関係委任会で定期点検・評価し学習・教育の成果を確認している ○卒業判定会議にて DP に沿った学習・教育の成果を確認している	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	5	
7-1-②	達成状況に関する学生・卒業生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育の成果が認められるか。	○学生・卒業生・進路先関係者等へのアンケート実施している ○アンケート結果から学習・教育の成果等を教務委員会等関係委員会で確認している	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	5	
7-1-③	就職や進学といった卒業後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育の成果が認められるか。	○就職及び大学編入学状況から成果が認められる ○進路先アンケートを実施し、アンケート結果から関係する委員会で学習・教育の成果を確認している	教務主事	4	—	3	4	4	4	4	5	【永】「数学、自然科学の基礎学力と実験・十種による実践力」に高い評価が得られている。一方で英語力については低い評価に留まることから、英語力の向上が図られることを期待します。
基準8 専攻科課程の教育活動の状況												
8-1	専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教育課程が体系的に編成され、専攻科課程としてふさわしい授業形態、学習指導法等が採用され、適切な研究指導等が行われていること。 また、専攻科課程の教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）並びに修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に基づき、成績評価・単位認定及び修了認定が適切に行われており、有効なものとなっていること。											
8-1-①	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されているか。	○平成 27 年度に大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科として認定されており、その際に、カリキュラムポリシーに基づき、授業科目が適切に配置され、教育課程が体系的に編成されていることが確認されている。	専攻科長	4	—	3	4	4	4	4	4	
8-1-②	準学士課程の教育との連携、及び準学士課程の教育からの発展等を考慮した教育課程となっているか。	○平成 27 年度に大学改革支援・学位授与機構から特例適用専攻科として認定されており、その際に、教育課程は準学士課程の教育との連携及び当該教育からの発展等を考慮したものとなっていることが確認されている。	専攻科長	4	—	3	4	4	4	4	4	
8-1-③	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に照らして、講義、演習、実験、実習等の授業形態のバランスが適切であり、それぞれの教育内容に応じた適切な学習指導上の工夫がなされているか。	○授業形態は、一般科目とコース専門科目および共通専門科目がバランスよく配置されている。開講科目の講義、演習、実験実習はそれぞれのカリキュラムポリシーに適合した科目が適切に配置されている。	専攻科長	4	—	3	4	4	4	4	4	

基準	点検項目	現状確認 (令和元年度末 現在) ○…完了しているもの △…作成中または実施中のもの ●…未整備のもの	担当	自己評価	次年度改善・見直し予定事項	早坂委員	永澤委員	西脇委員	東委員	皆川委員	齋藤委員	委員コメント ※【】は委員名
8-1-④	教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に基づき、教養教育や研究指導が適切に行われているか。	○広い視野を持ち、多様な価値観を理解できる能力を育成するため、各コース共通として「日本文学特論」、「技術者倫理」、「地域政策論」、「環境地理学特論」の一般科目を編成している。 ○自ら考え計画し、能力を総合的に発揮して問題を解決できる能力を育成するため、「専攻科研究Ⅰ」、「専攻科研究Ⅱ」を編成し、その分野で優れた実績を有する教員のもと、1人1テーマの取り組みで指導している。	専攻科長	4	—	3	4	4	4	4	5	
8-1-⑤	成績評価・単位認定基準が、教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、成績評価・単位認定が適切に実施されているか。	○成績評価・単位認定基準について、「鶴岡工業高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程」を定めている。 ○新入生ガイダンスや学生便覧等により、成績評価・単位認定について学生に周知している。 ○専攻科委員会において、成績評価・単位認定している。	専攻科長	4	—	3	4	4	4	4	5	
8-1-⑥	修了認定基準が、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に従って、組織として策定され、学生に周知されているか。また、修了認定が適切に実施されているか。	○修了認定基準について、「鶴岡工業高等専門学校専攻科の授業科目の履修等に関する規程」を定めている。 ○専攻科ガイダンスや学生便覧等により、修了認定について学生に周知している。 ○専攻科委員会において修了認定している。	専攻科長	4	—	3	4	4	4	4	5	
8-2	専攻科課程としての入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切に運用されており、適正な数の入学状況であること。											
8-2-①	入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿って適切な入学選抜方法が採用されており、実際の学生の受入れが適切に実施されているか。	○アドミッションポリシーに基づいた適切な専攻科入学選抜方法が整備されている。 ○推薦選抜、学力選抜、社会人推薦選抜やアドミッション・オフィス（AO）選抜を実施できる体制が整備され、適切に実施している。	専攻科長	4	—	3	4	4	4	4	5	
8-2-②	入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）に沿った学生を受入れているかどうかを検証するための取組が行われており、その結果を入学選抜の改善に役立てているか。	○自己点検評価の基本方針、PDCAサイクルに基づいて検証・改善の取組・体制を整えている。 ●入学者がアドミッション・ポリシーに適合しているか検証するためのアンケートを実施する。	専攻科長	2	アドミッションポリシーの適合について、令和2年度の入学者に対するアンケート調査は実施済みである。また、課題がみられた場合には、PDCAに基づき教育点検委員会が分析し、改善委員会で対応を検討する体制が整っている。	2	3	2	2	2	4	【永】入学者へのアンケート調査の実施によりアドミッションポリシーへの適合がさらに改善されることを期待します。 【東】今後の進捗に期待します。
8-2-③	実入学者数が、入学定員を大幅に超過、又は大幅に不足している状況になっていないか。また、その場合には、入学選抜方法を改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。	○令和元年度の充足率は100%である。また、入学選抜方法を改善を図るための体制も整備している。	専攻科長	4	—	4	4	4	4	4	4	
8-3	修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に照らして、学習・教育・研究の成果が認められること。											

8-3-①	成績評価・修了認定の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	○成績評価ならびに修了認定の結果から、ディプロマ・ポリシーに沿った学習・教育の成果を把握・評価するための体制を「鶴岡工業高等専門学校専攻科委員会規程」に基づき整備して実施している。	専攻科長	4	—	3	4	4	4	4	4	
8-3-②	達成状況に関する学生・修了生・進路先関係者等からの意見の聴取の結果から判断して、修了の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）に沿った学習・教育・研究の成果が認められるか。	○「専攻科修了時アンケート」、「専攻科修了生アンケート」、「卒業（修了）生就業先アンケート」などの各種アンケートを実施している。就職先アンケートの結果で修了生のすぐれている点などからディプロマポリシーに沿った成果が身につけていると判断される。	専攻科長	3	—	2	3	3	3	3	4	
8-3-③	就職や進学といった修了後の進路の状況等の実績から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	○令和元年度の就職率ならびに進学率は100%である。就職先は育成する技術者像にふさわしい製造業等となっており、進学先は専攻の分野に関連した大学の研究科等となっている。	専攻科長	4	—	3	4	4	4	4	4	【皆】域外就職後のUターン人材の地域定着の取組をより一層進められるよう期待する。
8-3-④	修了生の学位取得状況から判断して、学習・教育・研究の成果が認められるか。	○令和元年度の修了生の学位取得率は100%である。専門知識を体系的に修得し、多様な価値観と幅広い教養を身に付け総合的な判断力が養われている。	専攻科長	4	—	3	4	4	4	4	4	
選択的評価事項A 研究活動の状況												
A-1	高等専門学校の研究活動の目的に照らして、必要な研究体制及び支援体制が整備され、機能しており、研究活動の目的に沿った成果が得られていること。											
A-1-①	研究活動に関する目的、基本方針、目標等が適切に定められているか。	○地域連携センター規程を整備し、その中で、 ・地域企業等との技術・研究交流の推進 ・全国高専の研究拠点として、高専の持つ「ものづくり技術」を駆使して先端科学の社会実装を担うことが明記されている。また、あらたに鶴岡工業高等専門学校における研究活動の目的と基本方針・活動方針等についての規程を4月制定に向けて準備を進めている。	地域連携センター長	4	—	3	4	4	4	4	4	【皆】「K-ARC 拠点化事業への人員配置」補助金や科研費の獲得など高い実績を挙げられていると認識している。ただ、高専教員は教育と研究を併せて行うため、研究活動の進捗が遅れる可能性もあることから、高専機構においては、研究実績にみあった人的支援をお願いしたい。 マイナス評価ではなく、要望として「-1」
A-1-②	研究活動の目的等に照らして、研究体制及び支援体制が適切に整備され、機能しているか。	○副校長（研究・地域連携担当）の下に地域連携センターが組織され、同センター規程が整備されている。センターの3つの部門のひとつ、地域連携部門の担当業務として、 ・企業等との共同研究や受託研究の促進支援 ・学術情報の提供や技術協力に関する事案 ・競争的資金の獲得支援などが同センターの規程に明記され、支援体制の構築がなされている。	地域連携センター長	5	—	4	5	5	5	4	5	
A-1-③	研究活動の目的等に沿った成果が得られているか。	○科研費に関しては、地域連携センターが中心となって専門家を講師に招いて「科研費特別セミナー」例年7月に開催している。その成果のひとつとして、H31年度課題では過去最多の新規内定7件を獲得し、教員一人当たりの獲得金額に関しては第1ブロックの高専9校中、第1位を記録した。	地域連携センター長	5	—	5	5	5	5	5	5	

基準	点検項目	現状確認 (令和元年度末 現在) ○…完了しているもの △…作成中または実施中のもの ●…未整備のもの	担当	自己評価	次年度改善・見直し予定事項	早坂委員	永澤委員	西脇委員	東委員	皆川委員	齋藤委員	委員コメント ※【】は委員名
A-1-④	研究活動等の実施状況や問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	○地域連携・地域貢献活動を担う地域連携センターに3つの部門を設置し、それぞれに部門長と部門員を配置している。部門長は各担当事業に責任を持ち、センター会議や部門会議の席上で問題点の共有を行うことで、次年度に向けた改善を図る体制も整っている。個別の教員に対しては、研究奨励教員制度を導入し、校務負担を軽減、研究を促進させることで論文投稿、外部資金取得(科研費など)や学位取得の手助けを図っている。	地域連携センター長	4	—	3	4	4	4	4	5	
選択的評価事項B 地域貢献活動の状況												
B-1	高等専門学校の地域貢献活動等に関する目的等に照らして、地域貢献活動が適切に行われ、活動の成果が認められていること。											
B-1-①	地域貢献活動等に関する目的、基本方針、目標等が定められているか。	○地域連携・地域貢献活動の拠点として「地域連携センター」を設置し、同センター規程を整備して、目的等を定めている。また、あらたに鶴岡工業高等専門学校における地域貢献活動の目的と基本方針・活動方針等についての規程を4月制定に向けて準備を進めている。	地域連携センター長	4	—	3	4	4	4	4	5	
B-1-②	地域貢献活動等の目的に照らして、活動が計画的に実施されているか。	○地域連携センターに3つの部門[地域連携][人材育成][K-ARC]を設置し、それぞれに人員を配置している。その上で、4月に開催する同センター会議で当該年度の実実施計画を策定して担当者を決め、その計画に沿って各種事業を実施している。	地域連携センター長	5	—	3	5	5	5	5	5	【皆】地域企業等を会員とする「高専技術振興会」では会員企業も増加しており、市商工課が事務局となる「K-ARC推進協議会」の取組により、外部資金獲得や高専ネットワークの研究拠点整備を支援体制が構築されている等、地域内外において連携した取組が加速していると感じられる。
B-1-③	地域貢献活動等の実績や活動参加者の満足度等から判断して、目的に沿った活動の成果が認められるか。	○主催(参加)事業の大半でアンケートを実施し、参加者の満足度や意見等の聴取に努めており、その結果を次回(次年度)の実施に活かしている。 ○学校で学んだ成果を地域に還元する目的で、離島での家電修理ボランティア等の活動している学生団体が、「輝けやまがた若者大賞」を受賞し、知事から表彰を受けた。	地域連携センター長	5	—	4	5	5	5	5	5	【皆】高専のこれまでの取組の進捗と上記体制の整備により、これまで以上に高専に対する地域の注目度も上がっている。市では地域連携センター長に補助金の審査員をお願いするなど高い知見に基づき貢献いただいている。

B-1-④	地域貢献活動等に関する問題点を把握し、改善を図っていくための体制が整備され、機能しているか。	○地域連携・地域貢献活動を担う地域連携センターに3つの部門を設置し、それぞれに部門長と部門員を配置している。部門長は各担当事業に責任を持ち、センター会議や部門会議の席上で問題点の共有を行うことで、次年度に向けた改善を図る体制も整っている。	地域連携センター長	5	-	4	5	5	5	5	5	【皆】より良い活動に向けて、内部で改善が図られていると感じられる。
-------	--	---	-----------	---	---	---	---	---	---	---	---	-----------------------------------